

第2章 現状と課題

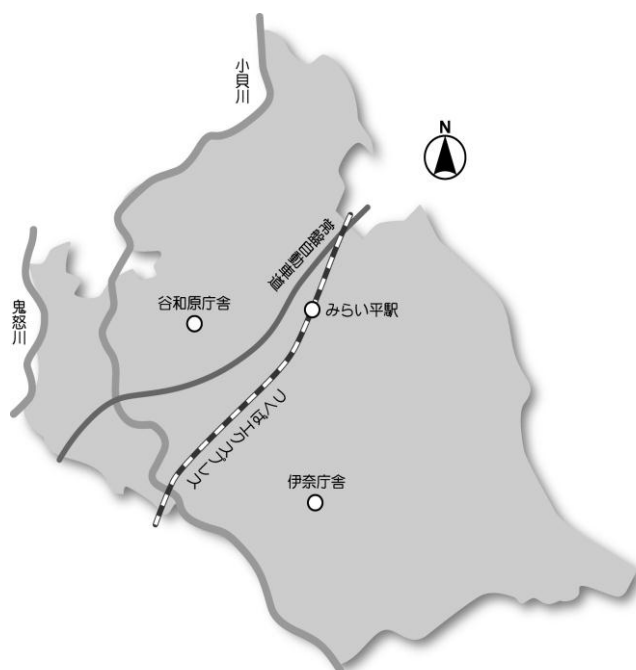
1 市の概況

本市は茨城県の南西部，都心から40km圏に位置しており、南北は約12km，東西約10kmの広がりを持ち，面積は79.14km²です。東はつくば市と龍ヶ崎市，西と北は常総市，南は取手市と守谷市にそれぞれ接しています。

市内には小貝川，鬼怒川という二大河川が流れ，小貝川沿いの低地部は広大な水田地帯となっています。東部や西部は丘陵地で，集落や畑地，低地林が広がっていますが，住宅団地や工業地域，ゴルフ場なども造成され，近郊整備地帯として都市機能の強化も図られています。

市のほぼ中央を東西に常磐自動車道が整備され，谷和原インターチェンジが設置されています。また，市の西部を南北に国道294号，市の北部を東西に国道354号が通り，そのほか，つくば市方面や守谷市，取手市，坂東市，野田市と連絡する主要地方道や一般県道があります。さらに都心方面と結ぶ都市軸道路など，広域道路網の整備が進んでいます。

鉄道については，市のほぼ中央を東西に首都圏新都市高速鉄道つくばエクスプレス，市の西部を南北に関東鉄道常総線が走り，つくばエクスプレスにはみらい平駅が，常総線には小絹駅が，それぞれ設置されています。



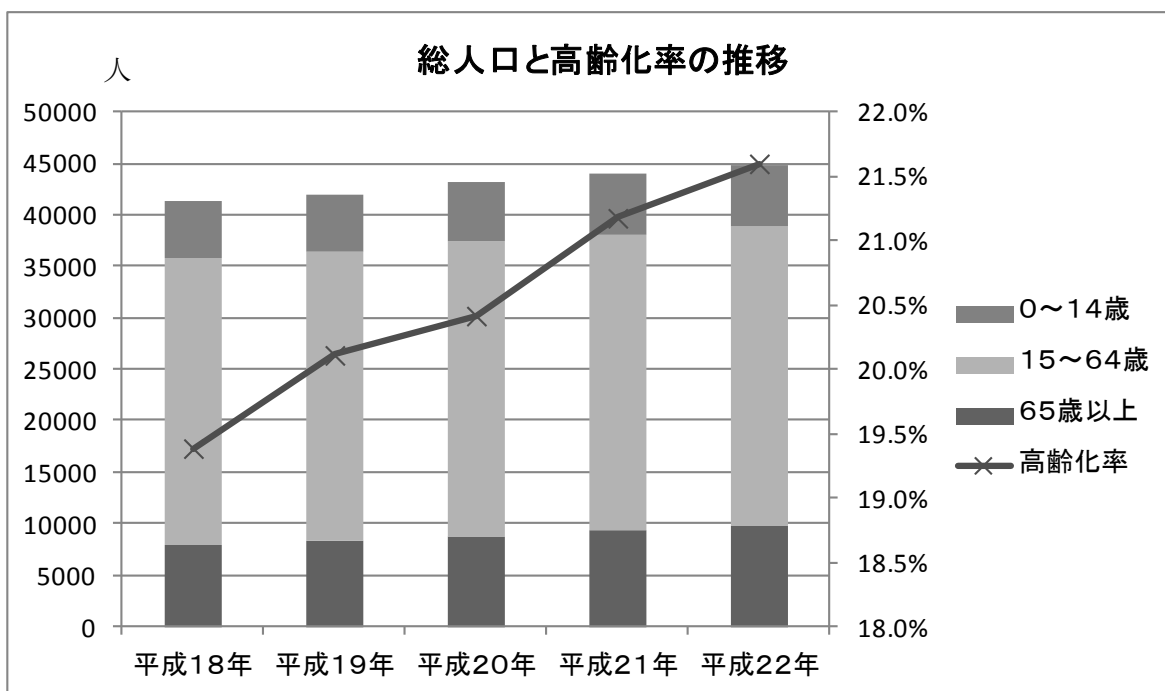
2 人口等の状況

① 人口の推移（4月1日現在の住民基本台帳）

本市の総人口は、増加傾向が続いております。65歳以上の高齢者人口も増加傾向にあります。しかし、それほど大きくは伸びていません。

総人口と高齢化率の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
65歳以上 (人)	7994	8411	8799	9299	9695
15～64歳 (人)	27766	27891	28568	28831	29219
0～14歳(人)	5478	5524	5733	5785	5975
総人口(人)	41238	41826	43100	43915	44889
高齢化率(%)	19.4	20.1	20.4	21.2	21.6



② 出生と死亡の状況

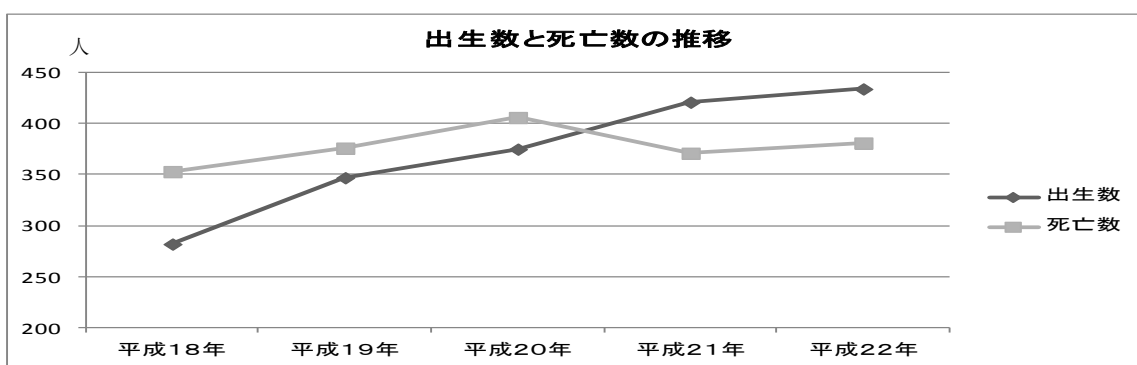
〈出生数と死亡数の推移〉

出生数は増加傾向にありますますが、死亡数は横ばいです。

出生数と死亡数の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出生(人)	282	347	375	421	434
死亡(人)	353	376	406	371	381

(出典：茨城県人口動態統計)



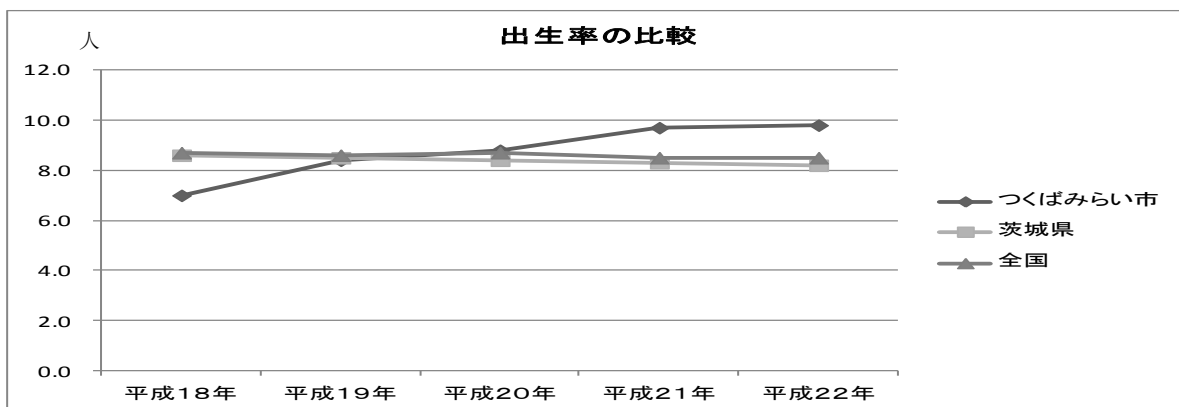
〈出生率の比較〉

出生率（人口1000対）は、国及び県と比較すると、平成19年までは国及び県を下回っていましたが、平成20年からは国及び県を上回っています。

出生率の比較

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
つくばみらい市(人)	7.0	8.4	8.8	9.7	9.8
茨城県(人)	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2
全国(人)	8.7	8.6	8.7	8.5	8.5

(出典：茨城県人口動態統計)



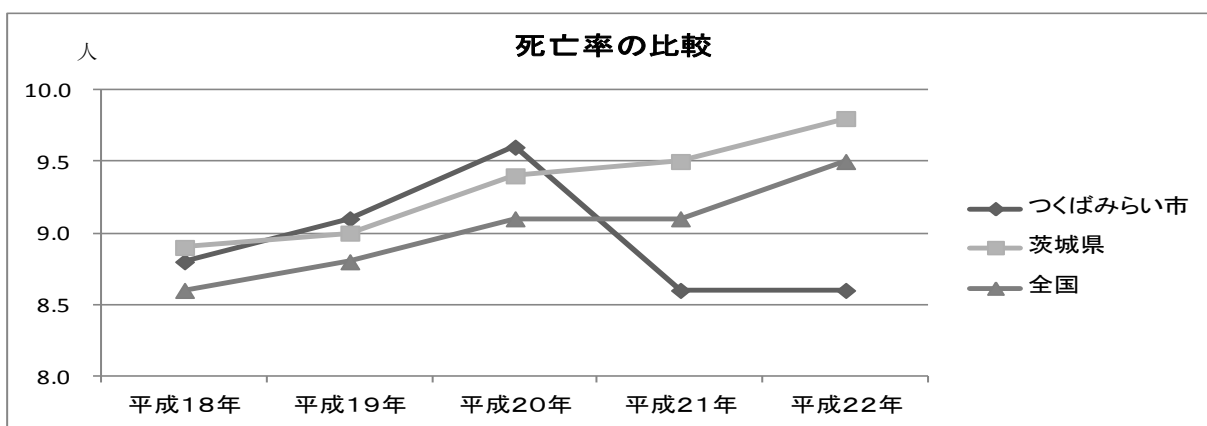
〈死亡率の比較〉

死亡率（人口1000対）は，国及び県と比較すると，平成20年までは国及び県とほぼ同様でしたが，平成21年からは国及び県を下回っています。

死亡率の比較

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
つくばみらい市(人)	8.8	9.1	9.6	8.6	8.6
茨城県(人)	8.9	9.0	9.4	9.5	9.8
全 国(人)	8.6	8.8	9.1	9.1	9.5

(出典：茨城県人口動態統計)



3 疾病等の状況

①死因別死亡者数の推移

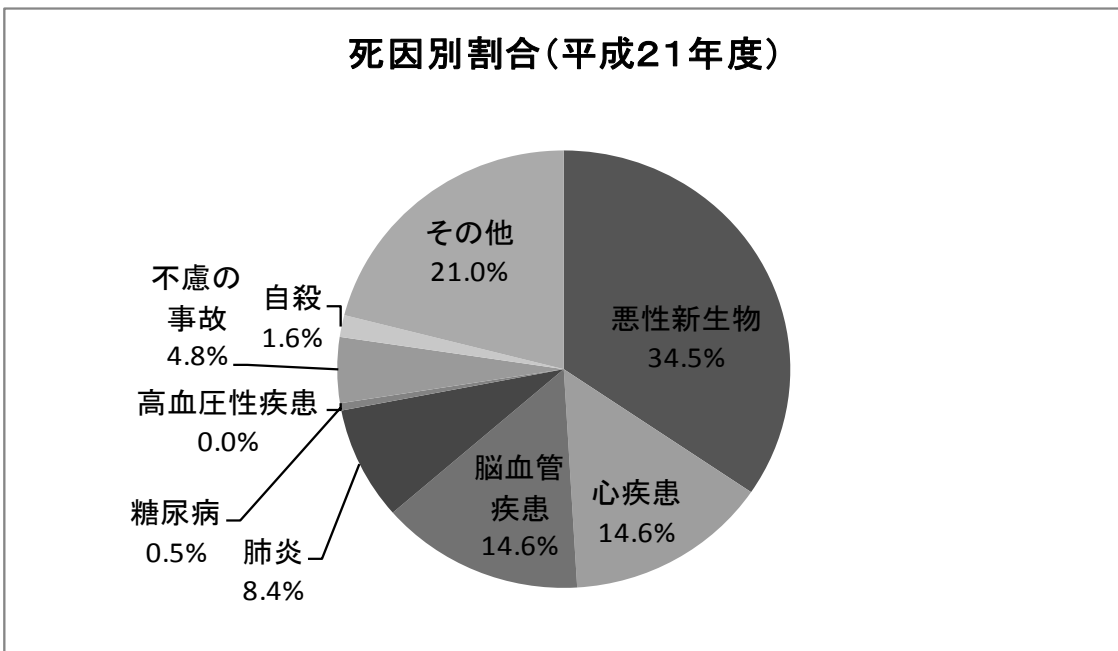
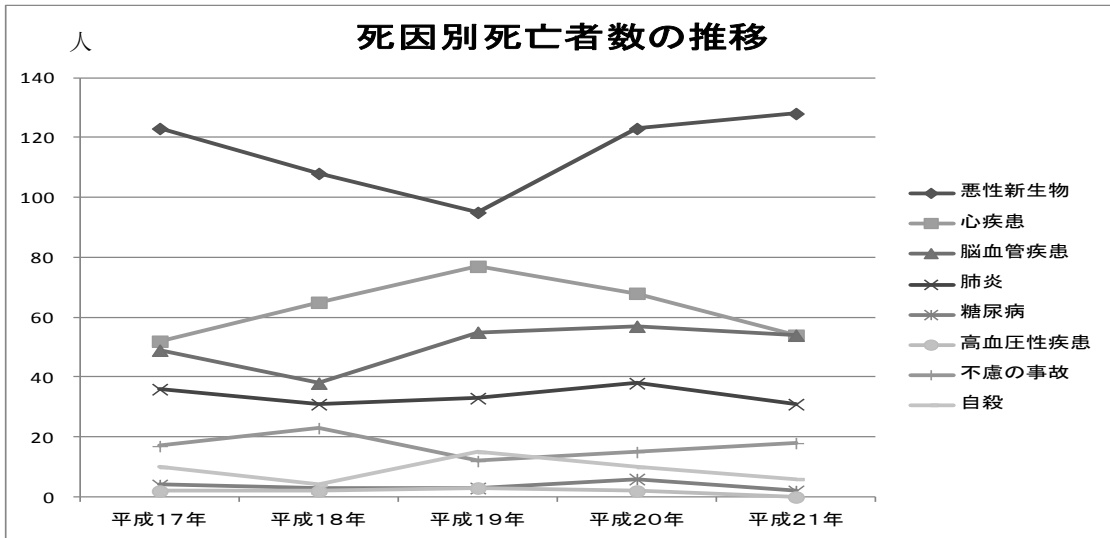
本市における死亡原因をみると，悪性新生物，心疾患，脳血管疾患の順に多く，生活習慣病の占める割合が高くなっています。

死因別死亡者数の推移

(単位：人)

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
悪性新生物	123	108	95	123	128
心疾患	52	65	77	68	54
脳血管疾患	49	38	55	57	54
肺炎	36	31	33	38	31
糖尿病	4	3	3	6	2
高血圧性疾患	2	2	3	2	0
不慮の事故	17	23	12	15	18
自殺	10	4	15	10	6

(出典：茨城県保健福祉統計年報)



②医療の状況 (平成22年5月診療分)

国民健康保険医療費では、高血圧性疾患、歯肉炎及び歯周疾患、糖尿病の順に受療率が高くなっています。

○ 治療の状況 (受療率)

順位	疾病	受療率 (%)
1	高血圧性疾患	10.8
2	歯肉炎及び歯周疾患	8.79
3	糖尿病	3.75
4	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2.78
5	その他の歯及び歯の支持組織の障害	2.76

○ 医療の状況（一人あたりの医療費）

順位	疾病	医療費(点)
1	歯肉炎及び歯周疾患	1245.38
2	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1225.17
3	高血圧性疾患	1100.21
4	虚血性心疾患	928.39
5	糖尿病	909.34

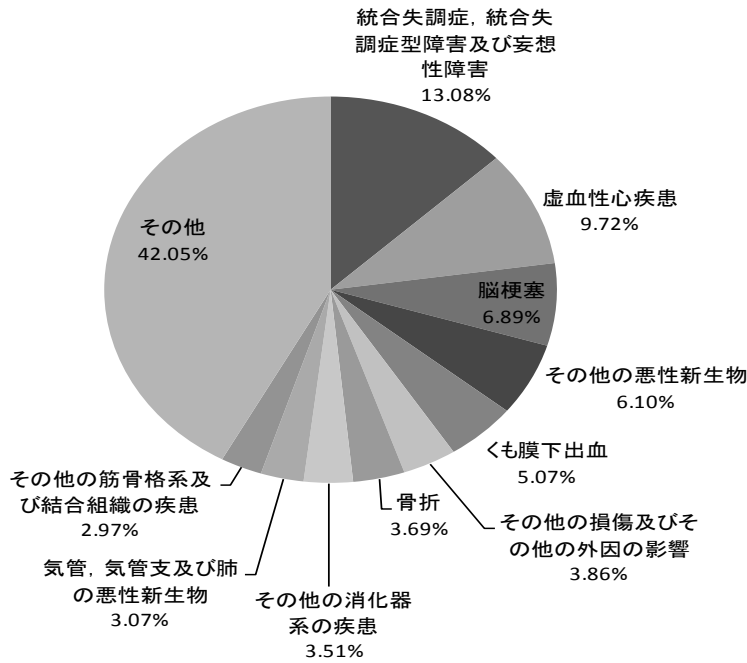
○ 医療費上位10疾病（入院）

順位	疾病	(%)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	13.08
2	虚血性心疾患	9.72
3	脳梗塞	6.89
4	その他の悪性新生物	6.1
5	くも膜下出血	5.07
6	その他の損傷及びその他の外因の影響	3.86
7	骨折	3.69
8	その他の消化器系の疾患	3.51
9	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	3.07
10	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2.97
11	その他	42.05

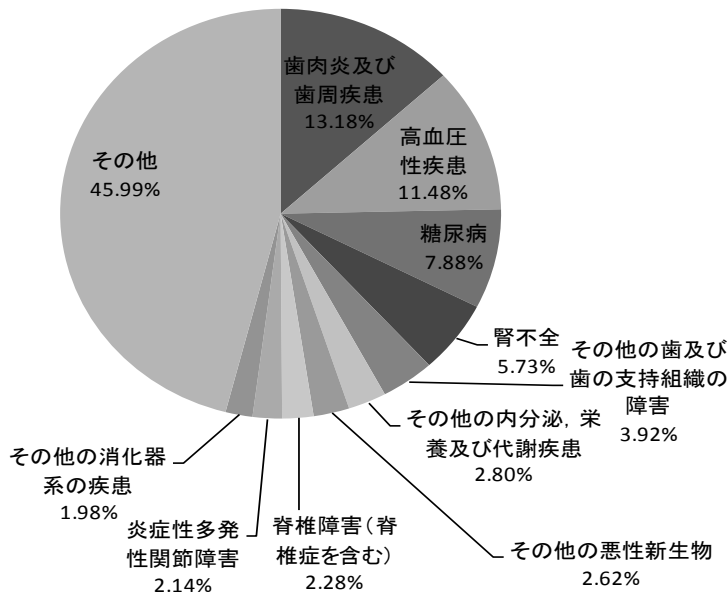
○ 医療費上位10疾病（入院外）

	疾病	(%)
1	歯肉炎及び歯周疾患	13.18
2	高血圧性疾患	11.48
3	糖尿病	7.88
4	腎不全	5.73
5	その他の歯及び歯の支持組織の障害	3.92
6	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2.8
7	その他の悪性新生物	2.62
8	脊椎障害(脊椎症を含む)	2.28
9	炎症性多発性関節障害	2.14
10	その他の消化器系の疾患	1.98
11	その他	45.99

医療費上位10疾病(入院)



医療費上位10疾病(入院外)



(出典：茨城県国民健康保険医療費状況)

4 健康診査の状況

① がん検診受診者数・受診率の推移

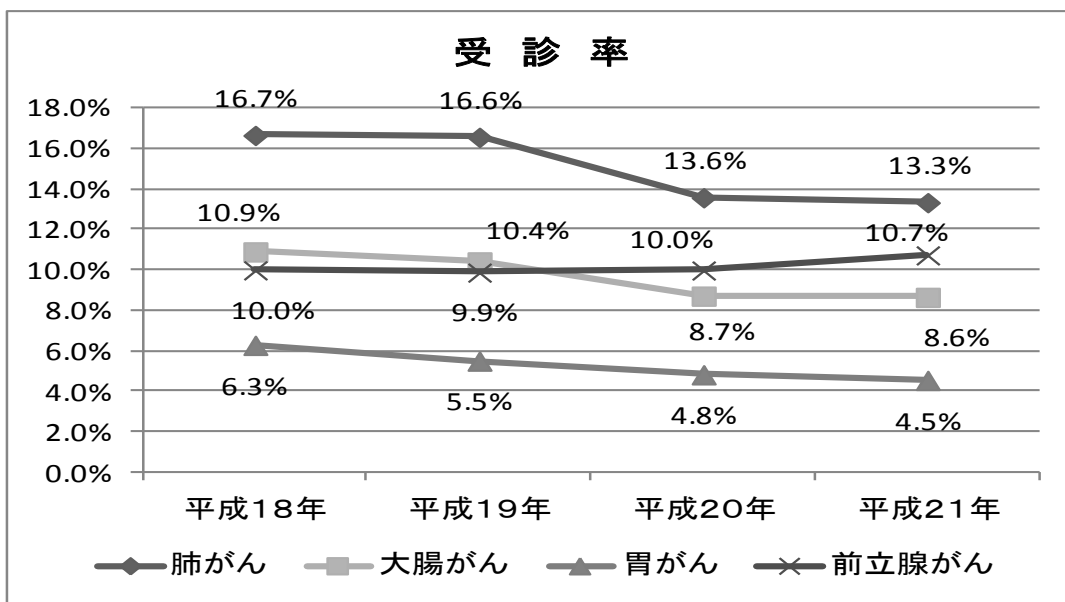
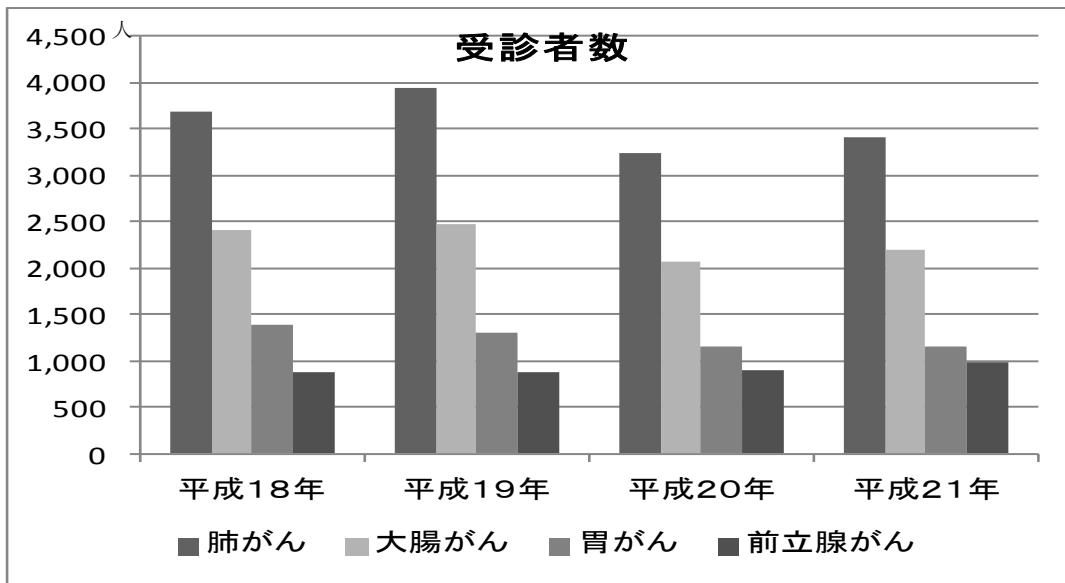
がん検診においては、検診の種類によって受診率に差があります。

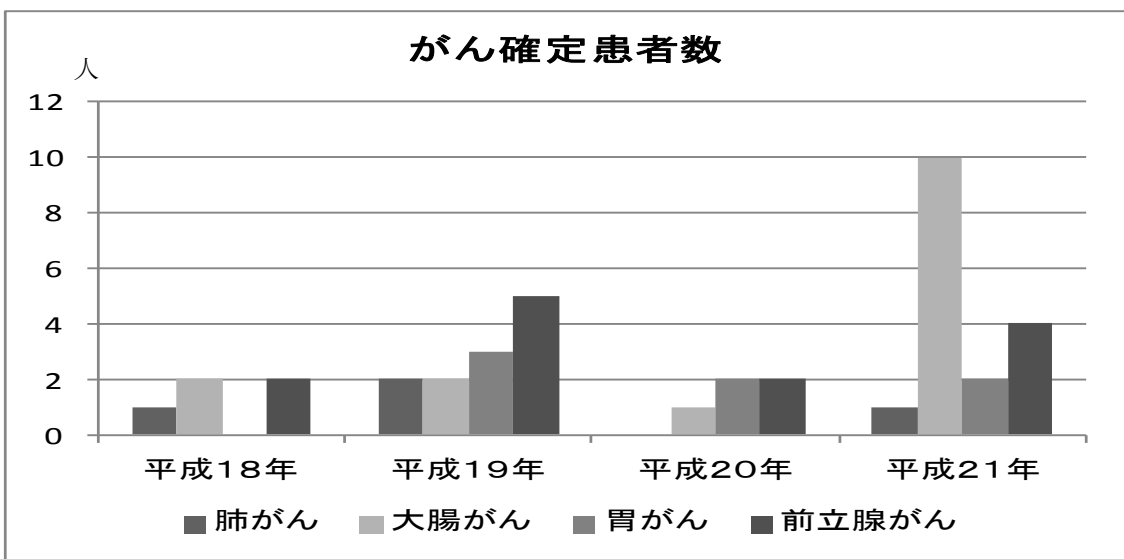
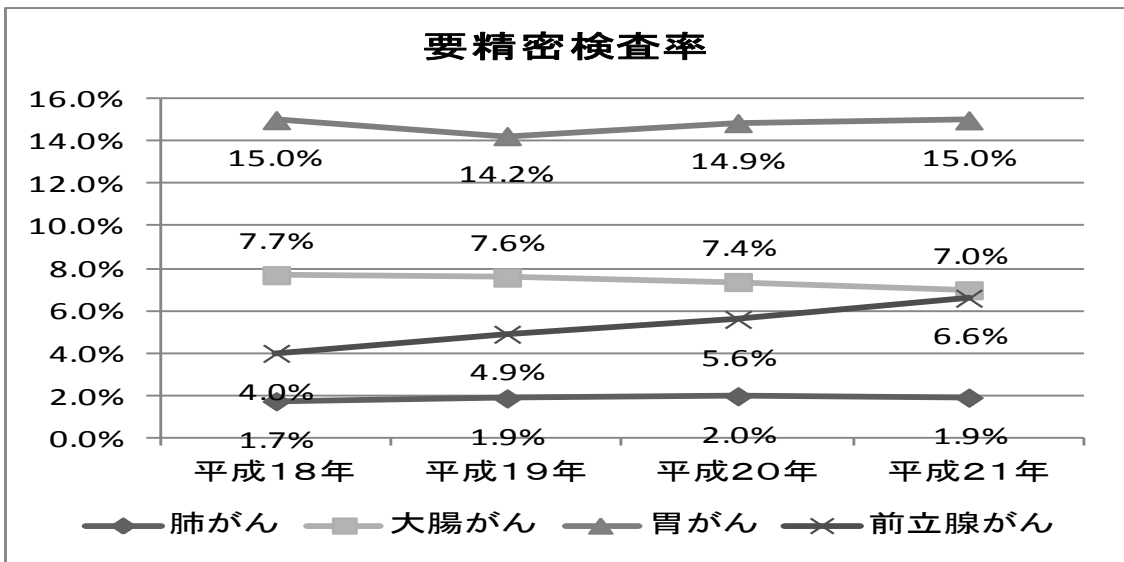
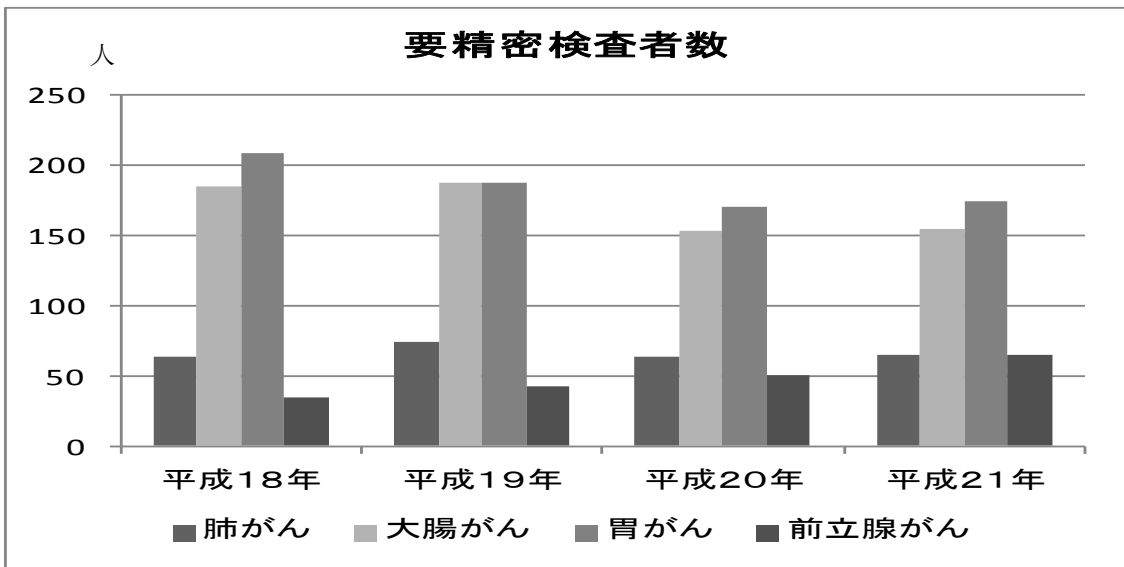
		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
肺がん	対象者数(人)	22,090	23,869	23,859	25,539
	受診者数(人)	3,678	3,952	3,238	3,404
	受診率(%)	16.7	16.6	13.6	13.3
	精検対象者数(人)	64	74	64	65
	精検該当率(%)	1.7	1.9	2.0	1.9
	がん確定患者数(人)	1	2	0	1

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
大腸がん	対象者数(人)	22,090	23,869	23,859	25,539
	受診者数(人)	2,407	2,483	2,078	2,209
	受診率(%)	10.9	10.4	8.7	8.6
	精検対象者数(人)	185	188	153	154
	精検該当率(%)	7.7	7.6	7.4	7.0
	がん確定患者数(人)	2	2	1	10

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
胃がん	対象者数(人)	22,090	23,869	23,859	25,539
	受診者数(人)	1,387	1,313	1,151	1,161
	受診率(%)	6.3	5.5	4.8	4.5
	精検対象者数(人)	208	187	171	174
	精検該当率(%)	15.0	14.2	14.9	15.0
	がん確定患者数(人)	0	3	2	2

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
前立腺がん	対象者数(人)	8,743	8,853	9,011	9,157
	受診者数(人)	873	874	899	982
	受診率(%)	10.0	9.9	10.0	10.7
	精検対象者数(人)	35	43	50	65
	精検該当率(%)	4.0	4.9	5.6	6.6
	がん確定患者数(人)	2	5	2	4

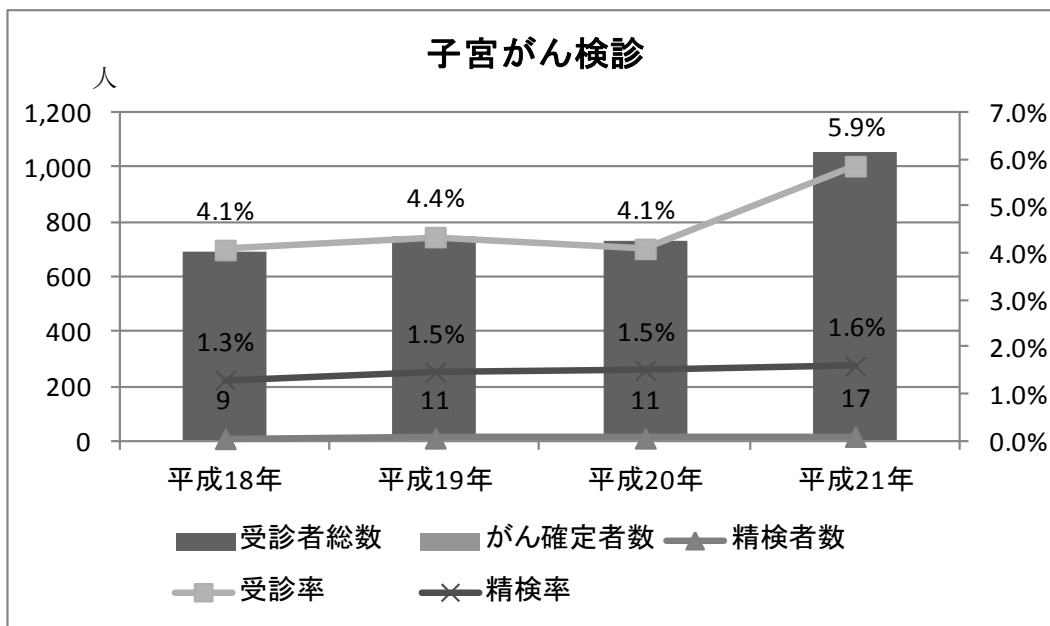


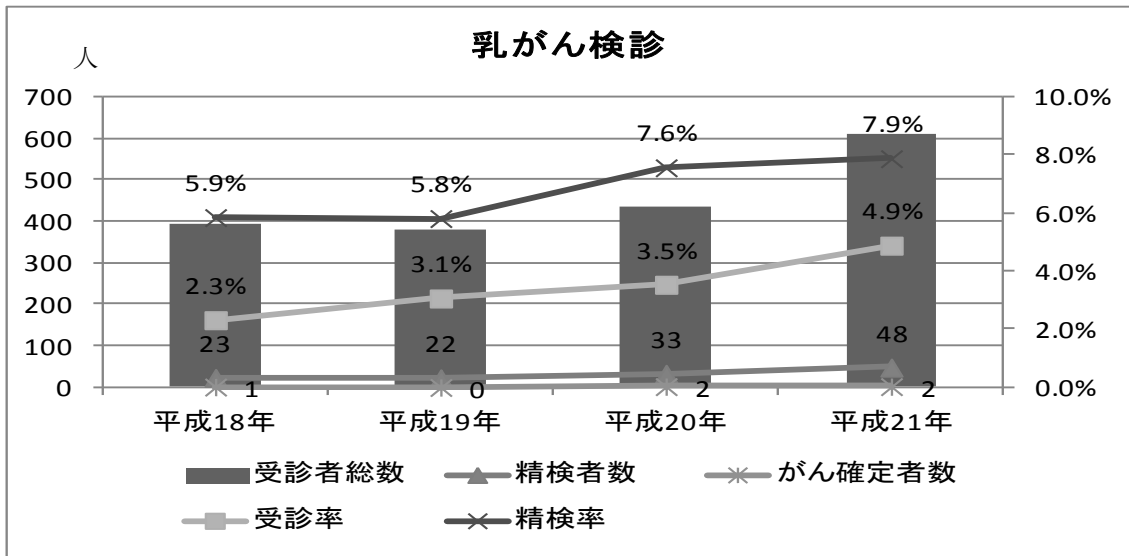


婦人科検診

		平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
子宮がん	対象者数(人)	16,953	17,166	17,730	18,046
	受診者数(人)	691	747	727	1,058
	受診率(%)	4.1	4.4	4.1	5.9
	精検対象者数(人)	9	11	11	17
	精検該当率(%)	1.3	1.5	1.5	1.6
	がん確定患者数(人)	0	0	0	0

		平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
乳がん	対象者数(人)	16,953	12,328	12,319	12,463
	受診者数(人)	393	378	436	609
	受診率(%)	2.3	3.1	3.5	4.9
	精検対象者数(人)	23	22	33	48
	精検該当率(%)	5.9	5.8	7.6	7.9
	がん確定患者数(人)	1	0	2	2





(出典：地域保健事業報告)

5 要支援・要介護者の状況

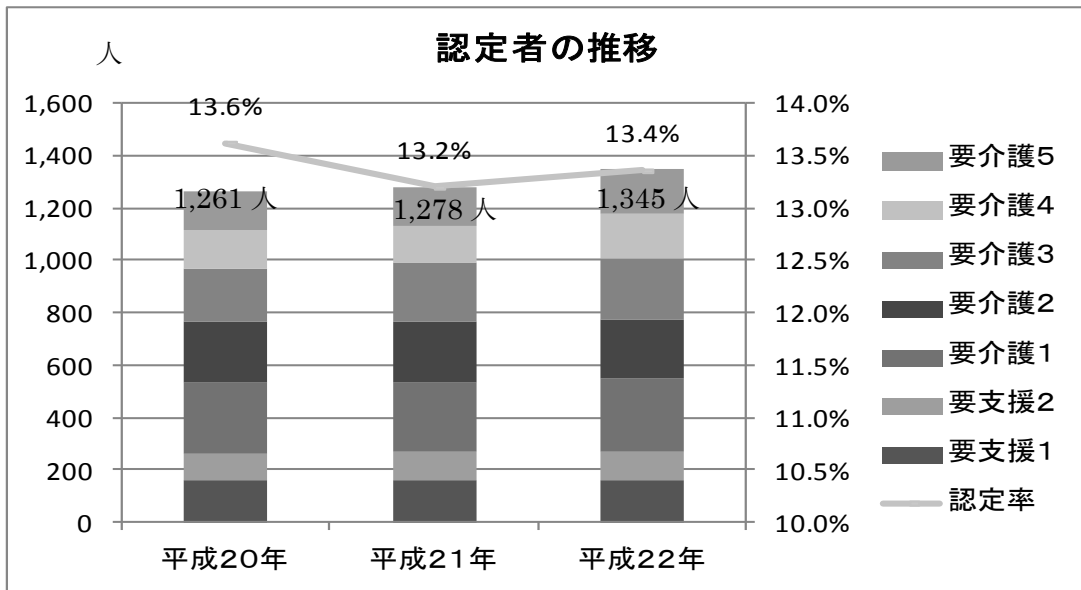
① 介護認定者の介護度別推移

本市の要支援・要介護者は、年々増加傾向にあります。

認定者の推移

	平成20年	平成21年	平成22年
要支援1(人)	157	160	157
要支援2(人)	102	106	114
要介護1(人)	272	263	275
要介護2(人)	238	235	227
要介護3(人)	201	225	234
要介護4(人)	147	142	167
要介護5(人)	144	147	171
合計(人)	1,261	1,278	1,345
認定率(%)	13.6	13.2	13.4

(出典：茨城県介護保険事業状況報告)



6 課題

高齢になってからの生活習慣病の発症を抑えるためには、若年からの健康診査受診率を高めることが求められ、受診率向上のための周知啓発が必要です。

50歳以降の歯周疾患等件数の急増及び近年口腔疾患が生活習慣病等の疾患に影響を与えることを示す報告がされていることをふまえ、生活習慣病予防のため若年からの口腔ケアを含めた口腔衛生意識を高めていく必要があります。